

## 2011（平成23）年度 東京大学 入試問題 第1問 解答例

- 一 河川の体験は、身体的存在である人間各自が河川空間を歩く際に風景の知覚が与える、多様な経験の身体意識であるということ。
- 二 体験の多様性の可能性を本質とする河川空間が、固定化された概念によって捉えられた空間へと再編されているということ。
- 三 河川空間は、樹木の植栽を育成の起点とする庭園と同様に、河川工事の竣工を起点とし、時間を経て自然の力で個性を得るから。
- 四 河川空間が個性を獲得していく長期間の形成過程には、多くの人間の経験の蓄積と自然の営みが含まれているということ。
- 五 風景の体験は、身体的存在である人間各自の、固定化された概念では捉えられない多様な空間的経験における身体意識である。それは風景を知覚する人間固有の履歴と、多くの人間の経験の蓄積と自然の営みを含む空間の履歴との交差によって構築されるということ。（一二〇字）
- 六 a 跳 b 断片 c 抑圧 d 阻害